

ちいさなたね【乳児おたより】

あり組・ひよこ組・りす組

2021年度 11月

聖和乳幼児保育センター

朝晩の気温差が大きくなってきましたが、日中は暖かい日も多く戸外で元気いっぱい過ごしています。園庭遊びにも慣れてきて、高月齢の子どもは靴を履いてトコトコと探索したり、すべり台に挑戦したりして楽しんでいます。ファンシーハウスでは陰から「ばあ！」と子ども同士のかわいらしいやり取りも見られました。低月齢の子どももシートの上で玩具や砂に触れたり、友だちを追いかけてハイハイで砂の上を進んだりする姿が見られます。様々なことに興味を持ち、やってみようとする子どもたちの気持ちを大切にしていきたいと思います。

10月はあり組に新しい友だちが加わりました。初めは様子を見ていた周りの子どもたちも、次第に頭を撫でたり、玩具を「どうぞ」と渡したりする微笑ましい姿が見られるようになりました。

11月は収穫感謝礼拝があります。持ち寄った野菜や果物に触れ、神さまに秋の恵みを感謝し、礼拝を守ります。また、11月後半にはクリスマスを待ち望むアドベント（待降節）に入ります。イエスさまのお生まれになったクリスマスを楽しみに待ち、神さまの愛を感じながら過ごしていきたいと思います。

指差しが盛んになってきたAくん。
モビールや飾り等を指差し教えてくれます。いつものように上の方を指差し「ん！」と言ったかと思うと、首が傾いていきます。視線の先には、扇風機がありました。扇風機が回る様子に合わせて、首をコテンと傾げる姿がとてもかわいらしかったです。

外壁塗装工事に興味津々の子どもたち。ローラーで壁にペンキを塗る様子を見てブロックでT字型を作り、「ぬりぬり」「コロコロ」と楽しそうに真似を始めました。作業されている方も、思わず笑顔になっていました。子どもたちの興味に寄り添い、これからも楽しみたいと思います。

朝夕の冷え込みで寒さを感じる季節となりましたが、日中は暖かく戸外で元気いっぱい身体を動かして遊んでいます。10月からはグループごとに大学のグラウンドへ散歩に行き、どんぐり拾いを楽しんだり広いグラウンドを走ったりしていつもと違う場所で楽しく遊ぶことができました。これからも、秋の自然を感じながら心と身体をたくさん動かして過ごしたいと思います。

11月8日は収穫感謝礼拝があります。お家から持ってきていただいた野菜や果物に触れて、神さまに秋の実りを感謝し礼拝を守りたいと思います。また、11月後半からクリスマスを待ち望むアドベント（降誕節）に入ります。保育室を飾ったり、お家の方へのプレゼントを作ったりしながらクリスマスを楽しみに待ち、神さまの愛を感じながら過ごしていきたいと思います。

肌に触れる風がだんだんと冷たくなり、寒さを感じる季節になってきました。日陰に入ると「ちょっと寒いね～」と言いながらも子どもたちはのびのびと体を動かし元気いっぱいに遊んでいます。大学内をたくさん散歩し、歩くことに慣れてきた子どもたちは距離を伸ばし、門戸厄神（東光寺）まで散歩に行けるようになりました。道中、どんぐりを見つけると「どんぐりころころ」の歌をうたいながら楽しく歩く姿や、列からはみ出しそうになると友だちの手を引く姿も見られ、とても頼もしく感じます。2日（火）の門戸岡田公園への遠足では子どもたちと秋の自然を見つけながら歩き、楽しい時間を過ごしたいと思います。

11月後半からはアドベント（待降節）に入ります。イエスさまの誕生の出来事を知り、大切なひとり子を私たちに与えてくださった神さまの愛を感じながら過ごしていきたいと思います。

ウレタン積み木を組み立ててピアノに見立てて、弾き歌いを真似て、楽しんでいます。絵本を前に立てて、保育者が楽譜を見る様子も模倣していたので、馴染みのある歌の楽譜を数曲、絵本コーナーに置いてみました。すると次はその楽譜を自分でしっかりセットし、「これ何の歌？」と保育者に確認してから楽しんだり、好きな歌をご機嫌に歌いながら演奏したり、それぞれの楽しみ方でかわいい歌声がりす組保育室に響いています。“芸術の秋”がりす組にもやってきたようです。